

修士学位論文作成の手引き
(研究指導計画及びスケジュール)
看護学専攻



愛媛県立医療技術大学大学院保健医療学研究科

令和5年4月

<目次>

研究指導計画概要 —研究指導の方法・スケジュール等—	1
入学から修了までの科目履修および修士学位論文作成過程	2
I. 研究指導教員の選任について	3
1. 研究指導教員の申請	3
2. 研究指導教員の変更	3
II. 修士学位論文作成から修了まで	
1. 修士学位論文における研究の遂行	3
2. 研究計画書申請および中間発表会まで	
1) 修士学位論文研究指導計画書の作成および提出	4
2) 修士学位論文研究計画書の提出	4
3) 修士学位論文研究計画変更の申請	4
4) 長期履修または長期履修期間変更	5
5) 修士学位論文研究計画発表会	5
6) 研究倫理審査の申請	6
7) 修士学位論文研究中間発表会	6
3. 修士学位論文提出から修士学位論文審査まで	
1) 修士学位論文の完成	7
2) 修士学位論文審査申請書の提出	7
3) 修士学位論文の提出	7
4) 修士学位論文発表会（最終試験）	7
5) 修士学位論文審査	8
6) 修正した修士学位論文の提出	8
4. 修了審査及び学位授与の通知	8
5. 修士学位論文公開について	
1) 論文の著作権	8
2) 修士学位論文閲覧許諾書の提出	8
3) 提出した論文の取り扱い	9
4) 学外への公表	9
6. 研究終了（中止・中断）報告書の提出	9
III. 提出書類一覧	10
IV. 各種様式	12
V. 修士学位論文の作成要領	25

研究指導計画概要 —研究指導の方法・スケジュール等—

<看護学専攻>

	時期	項目	研究指導の内容と方法等
1 年 次	4～6月	ガイダンス 研究指導教員決定 個別履修指導	研究科によるガイダンスを行い、研究指導教員が履修登録に際し履修指導を行う。 コースワークと研究テーマの概要に関する助言指導を行う。研究計画の立案までのプロセスに関する助言指導を行い、研究指導計画書を作成する。
	1年次に1年間を通じて研究指導教員が主として行う指導		特別研究Ⅰおよび各領域の研究指導教員が担当する科目を通じて、研究活動進行の指導をする。 ・文献検索・レビュー、研究テーマの絞り込み、研究計画書の作成等を支援する。 ・テーマの焦点化とそれに沿った研究戦略の設計・実施に関する指導を行う。 ・研究手法・データ収集手法の指導と予備調査による研究案の検討を助言指導する。
	11月上旬	2年次生の修士学位論文中間発表会	2年次生の研究進捗状況報告発表と討論への参加を促し、討論を参考に研究計画洗練化の助言指導を行う。
	1月中旬	修士論文研究計画発表会	研究計画書の作成に関する助言指導を行う。発表会の質疑と助言を受けて、研究計画の洗練化を助言指導する。 必要に応じて研究倫理審査委員会等の審査の手続きについて指導する。
	1月下旬	2年次生の修士学位論文発表会	2年次生の修士学位論文報告発表と討論への参加を促し、討論を参考に研究計画洗練化の助言指導を行う。
	3月下旬	研究指導計画書(実施状況)	研究指導計画書の実施状況を確認する。
2 年 次	4月	ガイダンス・個別履修指導	課程修了に向けたスケジュール等を確認し、必要に応じて研究指導計画書の見直しを助言指導する。
	2年次に1年間を通じて研究指導教員が主として行う指導		特別研究Ⅱを通じて、修士学位論文完成に向けて更なる研究活動進行の指導を行う。 ・調査等の実地指導を行う。 ・データの解析と解釈に関する指導を行う。 ・論文作成に関わる具体的指導を行う。
	11月上旬	修士学位論文中間発表会	研究成果のまとめ方と考察、プレゼンテーションについての指導を行う。発表会の質疑と助言を受けて、解析の追加等の助言指導を行う。
	11月中旬	修士学位論文審査申請	課程修了に向けたスケジュール等を再確認し、論文の粗稿作成を指導する。
	1月上旬	修士学位論文提出	論文の提出稿作成を指導する。
	1月下旬～ 2月上旬	修士学位論文発表会(最終試験)・口頭試問審査	研究成果のプレゼンテーションについての指導を行う。発表会(最終試験)の質疑、口頭試問審査意見を受けて、論文修正の助言指導を行う。
	3月上旬	修了判定	発表会(最終試験)、口頭試問審査、論文審査の結果を受けて、修了判定会議にて修了判定を行う。

入学から修了までの科目履修および修士学位論文作成過程（看護学専攻）

時期	科目履修過程	研究（修士学位論文作成）過程 ※文頭番号は目次の見出し番号にあたる
【1年次】 4月上旬 4月中旬 4月末まで 5月中旬以降随時 6月末まで 10月上旬 翌年 1月中旬 2月末まで 3月下旬	ガイダンス 前期履修科目登録 ※「特別研究Ⅰ」通年を含む 後期履修科目登録 ※「特別研究Ⅰ」通年を含む	ガイダンス I-1) 研究領域・研究指導教員選任申請書 提出 I-2) 副研究指導教員選任申請書 提出（必要時） II-2-1) 研究指導計画書 提出 研究指導教員の指導のもと研究を遂行 II-2-2) 修士学位論文研究計画書 提出 II-2-5) 修士学位論文研究計画発表会（看護学専攻） II-2-6) 研究倫理委員会の審査（必要時） II-2-4) 長期履修申請書 提出 II-2-1) 研究指導計画書 提出
【2年次：最終年次】 4月中旬 9月末まで 10月上旬 11月第1週日曜日 11月第2週金曜日 翌年 1月第2週水曜日 1月下旬 2月第2週金曜日 3月19日頃 3月下旬	前期履修科目登録 ※「特別研究Ⅱ」通年を含む 後期履修科目登録 ※「特別研究Ⅱ」通年を含む 修士課程修了	研究の展開 研究指導教員の指導のもと論文を作成 II-2-4) 長期履修期間変更申請書 提出 II-2-7) 修士学位論文中間発表会（看護学専攻） II-3-2) 修士学位論文審査申請書 提出 II-3-3) 修士学位論文 提出 II-3-4) 修士学位論文発表会（最終試験）・口頭試問 審査意見を受けての修正 II-3-5) 修正後修士学位論文 最終提出 修了式、学位記授与 II-5-2) 修士学位論文閲覧許諾書 提出 II-2-1) 研究指導計画書 提出

*前期修了予定者の場合は、それぞれ6ヶ月遅れの日程で進める。

※下線部の様式などはホームページからダウンロードできます。

I. 研究指導教員の選任について

1. 研究指導教員の申請

学生は研究領域の研究指導教員（必要に応じて副研究指導教員）を申請するために次の書類を提出する。また、学生は研究指導教員と相談の上、必要な場合は副研究指導教員を指名する。

- (1) 研究指導教員選任申請書（様式第1号、大学院の学生の研究指導教員等の選任に関する取扱い要領第2条、大学院授業科目履修規程第2条関係）
- (2) 副研究指導教員選任申請書（様式第3号、大学院の学生の研究指導教員等の選任に関する取扱い要領第3条、大学院授業科目履修規程第2条関係）

詳細については以下の通りである。

(1) 研究指導教員選任申請書

希望教員氏名および希望理由を記載し、事務局教務学生グループ担当者に期日までに提出する。

(2) 副研究指導教員選任申請書

研究指導教員が必要と認めた場合には、後日、学生は副研究指導教員を申請することができる。その際、研究指導教員の承認印を受ける。

2. 研究指導教員の変更

学生は大学院授業科目履修規程第2条第3項ただし書きにおける研究指導教員又は副研究指導教員の変更を希望する場合には、予めその事由を研究科長又は専攻長に面談等で相談の上、次の書類を提出する。

- (1) 研究指導教員等変更申請書（様式第5号、大学院の学生の研究指導教員等の選任に関する取扱い要領第4条、大学院授業科目履修規程第2条関係）

II. 修士学位論文作成から修了まで

1. 修士学位論文における研究の遂行

修士学位論文作成のための研究指導教員等からの研究指導は、入学から始まり修士学位論文の製本までの間、継続される。

学生は『特別研究』のシラバスに記載されている「授業目標」を参考にいつまでに、どこまでの達成を目指すのかを具体的に計画する。その計画に基づいて自律的に学習を進め、研究指導教員及び副研究指導教員から指導を受ける。また、課題の達成状況に応じて個別指導を依頼する。

2. 研究計画書申請および中間発表会まで

1) 修士学位論文研究指導計画書の作成および提出

学生は、研究指導教員及び副研究指導教員が研究指導計画に基づき作成した研究指導計画書について確認し、研究の進捗状況および目標到達度を確認しながら遂行状況を学生が記入する。研究指導計画書は、1年次の6月末と毎年度末（3月末）に進捗状況を学生自らで記載したうえで、事務局へ提出する。

2) 修士学位論文研究計画書の提出

特別研究Ⅰの授業の一環として、修士学位論文研究計画書を提出しなければならない。学生は修士学位論文研究計画書を提出するために、次の書類を準備する必要がある。

- (1) 修士学位論文研究計画提出届
- (2) 修士学位論文研究計画書
- (3) その他の必要書類

詳細については以下の通りである。

(1) 修士学位論文研究計画提出届

指導教員の承認印を受け修士学位論文研究計画書を提出する際には必ず一緒に提出する。

(2) 修士学位論文研究計画書の作成

緒言から研究方法までの論述が完成したのち、研究計画申請の期日を研究指導教員と相談する。研究計画書の提出に向け、修士学位論文の審査基準を参考に研究計画書を作成する。

(3) その他の必要書類の作成

データ収集を計画している者は、必要である場合には研究計画書提出に先立ち、研究協力施設の責任者（施設長）にデータ収集依頼を行い、内諾を得ておく。

(4) 必要書類の提出

上記（1）～（3）の書類を1部ずつ事務局教務学生グループ担当者に期日までに提出する。尚、長期履修予定者の場合、研究指導教員と相談の上、修士学位論文提出時期を踏まえて期日を確認し提出する。

3) 修士学位論文研究計画変更の申請

修士学位論文研究計画書を提出した後、何らかの事情で研究計画の変更が生じた場合に研究計画書の変更ができる。その際には、研究指導教員と相談の上、以下書類を提出する。

(1) 修士学位論文研究計画変更届

(2) 修士学位論文研究計画書

(3) その他の必要書類

4) 長期履修または長期履修期間変更

長期にわたる教育課程の履修（以下「長期履修」）を希望する学生は、愛媛県立医療技術大学大学院学則（平成26年規程第3号）第24条に基づき、長期履修が認められている。長期履修を希望する者、また、長期履修を認められた者が履修期間の変更を希望する場合においても次の書類を準備する。

(1) 長期履修に関する書類

ア. 長期履修申請書（様式第1号、大学院授業科目履修規程平成26年規程第8号第4条、大学院学則第24条関係）

イ. 研究計画書

ウ. その他学長が必要と認める書類

(2) 履修期間変更に関する書類

ア. 長期履修期間変更申請書（様式第2号、大学院授業科目履修規程平成26年規程第8号第6条、大学院学則第24条関係）

イ. 研究計画書

ウ. その他学長が必要と認める書類

詳細については以下の通りである。

(1) 長期履修に関する書類

長期履修申請書に理由及び履修計画を記載し、研究指導教員の意見と承認印を受け、研究計画書等とともに、事務局教務学生グループ担当者に期日までに提出する。

(2) 履修期間変更に関する書類

長期履修期間変更申請書に理由及び履修計画を記載し、研究指導教員の意見と承認印を受け、研究計画書等とともに、事務局教務学生グループ担当者に修了審査を希望する年度の9月末までに提出する。

5) 修士学位論文研究計画発表会

特別研究Ⅰの授業の一環として、修士学位論文研究計画発表会にて修士論文研究計画を発表しなければならない。

学生が修士学位論文研究計画発表会を受けるためには、修士学位論文研究計画書を1部事務局教務学生グループ担当者に期日までに提出する必要がある。研究指導教員に、日程

や場所及び発表要領等を確認し、発表準備を行う。発表時間 15 分、質疑応答 15 分で実施する。発表後は、質疑や助言等を参考にして研究の洗練を図る。

6) 研究倫理審査の申請

特別研究Ⅱの授業の一環として、愛媛県立医療技術大学研究倫理審査委員会において審査を受けなければならない（倫理審査が不要である研究テーマの場合を除く）。

学生が研究倫理審査を受けるためには、研究倫理に関する講習等を受講している必要がある。また、申請準備をする際には「愛媛県立医療技術大学研究倫理審査委員会運営規程」「研究倫理審査を申請される方へ」等を参考にし、研究倫理審査申請の準備をする。

- (1) 学生は、研究指導教員の指導を受け、「研究倫理審査を申請する方へ」を熟読し、審査を受けようとする締め切り期日までに申請に必要な書類を所定の提出先に提出する。なお、研究倫理審査申請は、研究倫理審査申請書（様式第 1 号、研究倫理審査規程第 12 条関係）を大学のホームページからダウンロードし用いる。ただし、他の研究機関において承認された多機関共同研究として実施予定の場合は様式第 4 号多機関共同研究実施届を用いる。
- (2) データ収集を計画している者は、研究倫理審査申請書類の提出に先立ち、研究協力施設の責任者（施設長）に研究協力の内諾を得る。更に必要によっては施設の倫理審査を受け、内諾を得ておく。
- (3) 研究倫理審査終了後、研究指導教員を通じて審査結果を確認する。なお、継続審査の場合、指摘されたことを修正して回答書とともに全ての書類を再提出する。また、変更の勧告や不承認であった場合には指摘事項を変更及び修正し再審査を申請する。いずれも、研究指導教員と相談し、再度、必要な書類を準備し再提出する。

7) 修士学位論文研究中間発表会

特別研究Ⅱの授業の一環として、修士学位論文研究中間発表会にて発表しなければならない。

研究指導教員に日程や場所及び発表要領を確認し、発表準備を行う。発表後は、質疑や助言等を参考にして研究の洗練を図る。

3. 修士学位論文提出から修士学位論文審査まで

1) 修士学位論文の完成

- (1) 学位論文作成要領を参考にし、緒言から結語までを論述し、目次、要旨、文献などを作成する。
- (2) 修士学位論文の**審査基準（表1）**と照合し、論文内容が基準を充たしているか否かを確認する。

表1 修士論文 審査基準

研究の意義	○看護学研究として、学術的意義があるか
	○研究課題に、新規性や独自性があるか
研究方法と内容	○設定されたテーマに関連する国内外の先行研究を検討した結果に基づき、研究の課題・背景・意義・目的などが明確に示されているか
	○研究目的を達成するための研究方法は妥当であるか
	○研究目的が達成され、研究課題の解決に貢献しうる成果が得られたか
	○今後の課題が明確になっているか
	○自立して研究活動を行える能力と学識が学位論文に示されているか
	○全体的に論理的な文章で構成されているか
倫理的配慮	○研究対象者等の権利を擁護できているか
	○研究の全過程を通して、倫理的配慮を反映した行動がとれていることを示せているか
口頭試問	○審査員の質問に対し、誠実、かつ真摯に回答できたか
	○論文の内容について、根拠をもって論理的に説明できたか
	○指摘された事項に対し、その採否や修正の方向性について検討し、適切に論文を修正できたか

2) 修士学位論文審査のための申請書の提出

研究計画に沿って倫理的配慮を行いながらデータ収集・分析などの研究を遂行し、修士学位論文が完成したら、論文審査を受けるため、指定の期日までに事務局教務学生グループに「修士学位論文審査申請書」を研究指導教員の承認印を受けて提出する。

3) 修士学位論文の提出

- (1) 学位論文作成要領に沿って完成した修士学位論文を簡易製本する。
- (2) 修士学位論文提出期日までに4部準備し、事務局教務学生グループに提出する。

4) 修士学位論文発表会（最終試験）

- (1) 修士学位論文発表会（最終試験）の日時・場所を研究指導教員に確認する。
- (2) 発表時間15分、質疑応答15分で実施する。

- (3) 修士学位論文発表会用要旨は p 36 の要領に沿って作成し、発表会前日までに教務学生グループへ提出する。
- (4) 発表内容は、**最終試験審査基準（表 2）**を充たしているか否かを照合し、修士学位論文の研究内容を説明できるような発表原稿と画面資料を作成し、質疑に十分応答できるように準備する。
- (5) 発表会当日は、審査の場であることを十分自覚し、これまでの学習成果を発揮する。

表 2 修士学位論文発表会（最終試験）審査基準

研究者としての能力	○研究内容をわかりやすくプレゼンテーションできたか
	○質疑応答を通して、専門的な知識を十分修得していることが示されたか
	○学術研究に相応しい発表、討論がなされたか
	○今後の研究活動につながる研究能力と学識が示されたか

5) 修士学位論文審査

修士学位論文審査について審査委員（主査・副査）に日時・場所を確認して、研究内容についての質問に回答するとともに必要な助言・指導を受ける。

6) 修正した修士学位論文の提出

- (1) 修士学位論文発表会（最終試験）及び口頭試問終了後、研究指導教員の指導を受け、必要に応じ修士学位論文を修正し、洗練を図る。
- (2) 修正した修士学位論文を 4 部（副研究指導教員がいる場合は副研究指導教員分を加える）を事務局教務学生グループに期日までに提出する。
- (3) 研究科委員会から通知される論文審査結果を待つ。

4. 修了審査及び学位授与の通知

大学から 3 月上旬に修了判定の結果を書面で通知がある。

5. 修士学位論文の公開について

1) 論文の著作権

著者本人が保有する。

2) 修士学位論文閲覧許諾書の提出

学生は研究科委員会からの論文審査結果通知後に「修士学位論文閲覧許諾書」により許諾の有無を申し出る。それにより、閲覧不可とすることもできる。

3) 提出した論文の取り扱い

製本した修士学位論文は、愛媛県立医療技術大学図書館で本人の許諾の範囲において閲覧することができる。本人が許諾に応じた範囲内において本学図書館が取り扱う。

4) 学外への公表

修士学位論文は、学会発表や学術誌への投稿を経て公表されることが望ましい。学生または修了生は、必要な時には研究指導教員に支援を求め、公表の機会を設けるように心がける。また、公表した場合、その旨を指導教員に報告する。

6. 研究終了（中止・中断）報告書の提出（研究倫理審査を申請した研究の場合）

研究終了（中止・中断）報告書を期日までに事務局経営企画グループに提出する必要がある。なお、報告書の作成は修了後となるため、倫理審査の申請者である研究指導教員に報告書の提出を依頼する。

提出書類一覧

1. 研究指導教員申請・副研究指導教員申請

提出書類	部数	備考
研究指導教員選任申請書	1	
副研究指導教員選任申請書	1	・研究指導教員と相談の上、必要時に提出 ・研究指導教員の承認印

2. 研究指導教員変更申請

提出書類	部数	備考
研究指導教員等変更申請書	1	・研究科長又は専攻長に面談等で相談の上

3. 修士学位論文研究指導計画書

提出書類	部数	備考
修士学位論文研究指導計画書	1	・研究指導教員および副指導教員と確認の上

4. 修士学位論文研究計画書の提出

提出書類	部数	備考
修士学位論文研究計画提出届	1	・研究指導教員の承認印
修士学位論文研究計画書	1	
その他の必要書類	1	

5. 修士学位論文研究計画変更届の提出

提出書類	部数	備考
修士学位論文研究計画変更届	1	・研究指導教員と相談の上、必要時に提出 ・研究指導教員の承認印
修士学位論文研究計画書（変更後）	1	

6. 長期履修または長期履修期間変更書類の提出

提出書類	部数	備考
長期履修申請書	1	・長期履修を希望する場合
長期履修期間変更申請書	1	・履修期間変更を希望する場合
研究計画書	1	・長期履修希望または履修期間変更する場合
その他学長が必要と認める書類	1	・長期履修希望または履修期間変更する場合

7. 研究倫理審査委員会審査申請

ホームページの研究倫理関連よりファイルをダウンロードし、必要書類を揃えて提出する。

8. 修士学位論文提出

提出書類	部数	備考
<u>修士学位論文提出審査申請書</u>	1	・研究指導教員の承認印
修士学位論文	4	・製本

9. 修士学位論文発表会用要旨の提出

提出書類	部数	備考
<u>修士学位論文発表会用要旨</u>	1	

10. 修士学位論文閲覧許諾書の提出

提出書類	部数	備考
<u>修士学位論文閲覧許諾書</u>	1	・研究指導教員の同意印

11. 研究終了（中止・中断）報告書の提出

提出書類	部数	備考
<u>研究終了（中止・中断）報告書</u>	1	

様式第1号（大学院の学生の研究指導教員等の選任に関する取扱い要領第2条、大学院授業科目履修規程第2条関係）

研究指導教員選任申請書

年 月 日

愛媛県立医療技術大学大学院研究科長 様

保健医療学研究科 _____ 専攻
学籍番号 _____
氏 名 _____

下記のとおり研究指導教員の選任を申請します。

記

希望教員氏名	
希望理由	

※希望理由には、研究内容との関連を含んだ理由を記入のこと。

様式第3号（大学院の学生の研究指導教員等の選任に関する取扱い要領第3条、大学院授業科目履修規程第2条関係）

副研究指導教員選任申請書

年 月 日

愛媛県立医療技術大学大学院研究科長 様

保健医療学研究科 _____ 専攻
学籍番号 _____
氏 名 _____

下記のとおり副研究指導教員の選任を申請します。

記

希望教員氏名	
希望理由	
研究指導教員の意見	上記のとおり副研究指導教員の選任申請が必要であると認める。 研究指導教員 氏名 _____ (印)

※希望理由には、研究内容との関連を含んだ理由を記入のこと。

様式第5号（大学院の学生の研究指導教員等の選任に関する取扱い要領第4条、大学院授業科目履修規程第2条関係）

研究指導教員等変更申請書

年 月 日

愛媛県立医療技術大学大学院研究科長 様

保健医療学研究科 _____ 専攻
学籍番号 _____
氏 名 _____

下記のとおり研究指導教員等の変更を申請します。

記

変更後の希望教員氏名	研究指導教員	
	副研究指導教員	
希望理由		
現在の研究指導教員等氏名	研究指導教員	
	副研究指導教員	
変更理由		

※希望理由には、研究内容との関連を含んだ理由を記入のこと。

※下線部の様式などはホームページからダウンロードできます。

研究指導計画書

保健医療学研究科 ○○専攻

学籍番号

氏 名

指導教員名 _____ (自署)

		研究指導計画		実施経過・実績報告		
年次	履修予定授業科目	研究指導計画	研究実施経過報告 (研究指導計画に沿って、進捗状況、実績、成果等を記載)	期 間		
1 年次	前期					
	後期					
2 年次	前期					
	後期					

修士学位論文研究計画提出届

令和 年 月 日

愛媛県立医療技術大学大学院保健医療学研究科長 様

_____専攻

学籍番号

氏 名

印

修士学位論文研究計画を下記のとおり提出いたします。

記

修士学位論文研究計画書 部

【受付印】

指導教員承認印

氏名

印

修士学位論文研究計画変更届

令和 年 月 日

愛媛県立医療技術大学大学院保健医療学研究科長 様

_____専攻

学籍番号

氏 名

印

修士学位論文研究計画を下記のとおり変更いたしましたので、提出いたします。

記

1 変更理由

2 主な変更内容

3 変更による履修計画等への影響

4 修士学位論文研究計画書（変更後） 部

【受付印】

指導教員承認印

氏名

印

(様式)

修士学位論文研究計画書

愛媛県立医療技術大学大学院保健医療学研究科

_____専攻

学籍番号_____氏名_____

※必要に応じて各欄を拡大・縮小したり、資料を添付したりしてもよい（全7枚以内）

1. 研究題目
2. 研究動機（課題・背景・意義・概念枠組みなどを、先行研究の知見を踏まえて記述する）
3. 研究目的・目標

4. 研究方法（研究対象・データ収集方法・期間・分析方法などを含み、項目毎に書く）			
5. 倫理的配慮			
6. 今後のスケジュール			
【引用・参考文献】（引用文献は、本文中に示し、参考文献とは区別して記載する）			
指導教員		副指導教員	

長期履修期間変更申請書

年 月 日

愛媛県立医療技術大学長 様

保健医療学研究科 専攻

学籍番号

氏名

下記のとおり長期履修期間の変更を申請します。

記

入学年月日	年 月 日
許可済の履修期間	年 月 日から 年 月 日 (年間)
変更後の履修期間	年 月 日から 年 月 日 (年間)
変更の理由	
変更後の履修計画	
指導教員の所見	署名 _____

修士学位論文審査申請書

令和 年 月 日

愛媛県立医療技術大学大学院保健医療学研究科長 様

_____専攻

学籍番号

氏 名 ㊟

令和 年度修士学位論文として、下記論文を審査していただきますようお願いいたします。

記

論文題目	
------	--

【指導教員承認欄】

指導教員氏名 ㊟

※下線部の様式などはホームページからダウンロードできます。

令和 年度 学位論文 要旨

専攻名	専攻	学籍 番号		氏名	
論文名					
研究指導教員		副研究指導教員			

修士学位論文閲覧許諾書

年 月 日

愛媛県立医療技術大学大学院研究科長 様

_____ 専攻

学籍番号

氏 名

印

連絡先

TEL :

E-mail :

論文名 (和文)	(ふりがな) -----
論文名 (英文/その他)	
製本論文の 閲覧 (公開時期)	<p>※以下、1-2より選択してください。複写は認めていません。また、1の場合は、(1)-(2)より選択してください。</p> <p>1. 【可】 図書館内での製本論文の閲覧を認めます。</p> <p style="margin-left: 20px;">(1). 審査終了即時</p> <p style="margin-left: 20px;">(2). 期日指定 (公開日: 年 月 日)</p> <p style="margin-left: 20px;">備考:</p>
特記・要望 事項	(特記・要望のほか、雑誌への投稿を検討されている場合やすでに学位論文が雑誌等に掲載されている場合は、その旨記載してください。)
指導教員 同意欄	<p>当学位論文について、以上の内容に同意します。</p> <p style="text-align: right;">⑩</p>

※ご記入頂きました個人情報は、愛媛県立医療技術大学大学院における修士学位論文管理業務にのみ使用し、他の目的には一切使用いたしません。

※閲覧の可否について、後日、変更は可能です。

修士学位論文の作成要領

1. 表紙・背表紙

○表紙

「令和〇〇年度 修士論文」（提出年度とする）を中央上部に印字する。

論文タイトルは 20 ポイント明朝体のボード（太字）、その他（副タイトルも含む）は 14 ポイント明朝体を用いる。

論文タイトル（和文表題、英文表題を併記する）は表紙の上半分、その他は下半分に納まるように印字する。

○背表紙

論文タイトル及び提出者氏名は、明朝体を用いて下図のとおり印字する。

題 名	令和〇年度 修士論文
	題 名 英 文 表 題
砥 部 太 郎	愛媛県立医療技術大学大学院 保健医療学研究科 看護学専攻 学籍番号 〇〇〇〇 砥部 太郎

2. 論文原稿

○A4 縦型の用紙とし、余白は上下 30mm、左右 30mm とする。

○ワードプロセッサを用いて、横書き、両面刷り又は片面刷りで作成し、下面中央にページ番号を入れる。

○論文を和文で記述する場合、明朝体の 11 ポイントフォントを使用し、1 ページ 40 字×30 行とし、句読点は、と。で作成する。

○論文を英文で記述する場合、Times New Roman の 12 ポイントフォントを使用し、ダブルスペースで作成する。

○図（写真）と表は区別し、それぞれに通し番号とタイトルをつける。図には必要に応じて概説を加える。

○数字と欧文は半角とする。

○欧文の略語を使用する場合には、初出において「正式名称（略語）」の順で記載する。

3. 倫理的配慮

人および動物を対象とする研究では、当該施設の研究倫理委員会及び動物実験委員会などで承認を得る必要がある。また、その旨を本文中に記載する。

※下線部の様式などはホームページからダウンロードできます。

4. 論文の構成

○論文の構成は原則以下のとおりとする。

要旨

目次

I. 緒言

II. 方法

III. 結果

IV. 考察

V. 結語

謝辞など

文献

5. 要旨

○600～800字とし、目的、方法、結果、結論などが明確に伝わるように記載する。要旨の後にキーワードを5つ記入する。

6. 文献

文献はバンクーバー方式、またはハーバード方式のいずれかで記載する。

引用・参考文献を書くためのオススメ文献

1. 前田樹海, 江藤裕之 (2012) 「APA に学ぶ 看護系論文執筆のルール」医学書院.
2. アメリカ心理学会 (2010/2011) : 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦 (訳)
「APA 論文作成マニュアル 第2版」医学書院.

(ア)バンクーバー方式

- 本文中で文献を引用する場合には、右肩に上付きの文献番号をつける。なお、文献番号は論文の最初から引用順に付け、論文の最後に文献リストを付ける。

例1: 本疾患に罹患した小児が経験する症状は4種類に分類される¹⁾。

例2: 山田¹⁾は本疾患に罹患した小児が経験する症状を4種類に分類している。

- 文献リストは、以下のごとく記載する。

➤ 学術雑誌

著者名: 論文名. 雑誌名. 発表年; 巻(号): 開始頁 - 終了頁.

英文の著者名は、「Family name First name のイニシャル」とする(例: Kagawa F)。著者が6名以上の場合、最初の3名のみとし、以降は「他」、英文では「et al.」とする。

➤ 単行本

章の著者名: 「章タイトル」. 書籍名. 章の開始頁 - 終了頁. 編集者名(編). 発行所. 発行地. 発行年.

➤ 翻訳書

章の著者名: 「章タイトル」. 書籍名. 章の開始頁 - 終了頁. 編集者名(編). 発行所. 発行地. 発行年(以上は原語で書く); 翻訳者名: 「章タイトル」. 書名. 開始頁 - 終了頁. 発行所. 発

行地. 発行年. (翻訳者以降は和文)

➤ 電子雑誌

著者名: 論文名. 雑誌名. 発表年; 巻 (号): 開始頁 - 終了頁. DOI: ○○○

➤ Web サイト

著者名: 題名. [http://www. ○○○○○○](http://www. ○○○○○○ ○ (参照年月日)) (参照年月日)

(イ)ハーバード方式

- 本文中で文献を引用する場合には、著者名と出版年を記載する。
例1:本疾患に罹患した小児が経験する症状は4種類に分類される(山田,2012)(Kagawa, 2013)。
例2: 山田(2012)は、本疾患に罹患した小児が経験する症状を4種類に分類している。
- 同姓の著者がいる場合には氏名を記載する。
例: 山田太郎(2012)は... 一方、○○という報告もある。
- 同一著者が同一年に発表した複数の論文を引用する場合には、年号の後に小文字のアルファベットを付記して区別する。
例: 山田(2013a)は... さらに○○を明らかにしている。
- 著者が2名の場合には、2名とも記載する。
例1: (山田, 佐藤, 2012)。
例2: (Suzuki, and Tanaka, 2015)
- 著者が3名以上の場合には、「○○ら」、英文では「○○ et al.」とする。
例1: 田中ら(2012)の報告によると...
例2: 報告している(田中ら, 2012)。
例3: 報告している(Suzuki et al., 2015)
- 2つ以上の論文から1つの内容を述べる場合には、著者名と出版年をそれぞれ記載する。
例: ～～を明らかにしている研究(田中, 2010; 山口, 齋藤, 2012)は、
- 翻訳本の場合には、原本の出版年の後に翻訳本の出版年を記載する。
例: (King, 1981/1985)
- 文献リストは以下のごとく記載する。
 - 学術雑誌
著者名. (発行年). 論文名. 雑誌名, 巻, 開始頁-終了頁。
著者名はフルネームで記載する。また、英文の著者名は、「Family name First name のイニシャル」とする(例: Kagawa F)。
著者が3名以上の場合、最初の3名のみとし、以降は「他」、英文では「et al.」とする。
 - 単行本
章の著者名: (発行年). 「章タイトル」. 書籍名. 章の開始頁 - 終了頁. 編集者名 (編). 発行所. 発行地.
 - 翻訳書
章の著者名: (発行年). 「章タイトル」. 書籍名. 章の開始頁 - 終了頁. 編集者名 (編). 発行所. 発行地. (以上は原語で書く); 翻訳者名: (発行年)「章タイトル」. 書籍名. 章の開始頁 - 終了頁. 発行所. 発行地. (翻訳者以降は和文)
 - 電子雑誌

著者名．（発行年）．論文名．雑誌名，巻，開始頁-終了頁．DOI：○○○

➤ Web サイト

➤ 著者名：題名．[http://www.○○○○○○○](http://www.○○○○○○○.○○○○○○○.○○○○○○○)（参照年月日）

- 文献リストは筆頭著者の姓（Family name）のアルファベット順に並べる。

例：

相田太郎，小川次郎，大川三郎．（2012）．○○における○○の有用性の検討．○○学会雑誌，26，116-123．

Ogawa H. and Tatekawa D.（2009）．Endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration... Journal of ○○，35，99-109．

荻野史郎，山川花子，香川涼子ら．（2001）．○○において○○は有効か．○○学会雑誌，50，206-217．

7. 提出部数

○修士学位論文は、4部を事務局教務学生グループに提出する。

〔主査1部、副査2部（各1部）、予備1部（事務局保管用） 計4部〕

8. 修正後修士学位論文の提出

○修正後修士学位論文は、簡易製本したものを、期日までに、4部（副研究指導教員がいる場合は5部）を提出する。

○表紙、背表紙は、審査用に準じる。

修士学位論文発表会の要領

1. 修士学位論文発表会用要旨

○発表会前日までに A4 用紙 1 枚で要旨を作成し、事務局教務学生グループに提出する。

令和○年度学位論文 要旨					
専攻名	専攻	学籍 番号		氏 名	
論文名					
研究指導教員		副研究指導教員			

※論文を和文で記述する場合、明朝体の 11 ポイントフォントを使用

論文を英文で記述する場合、Times New Roman の 12 ポイントフォントを使用

余白は上下 30mm、左右 30mm

2. 修士学位論文要旨集の配布先

○配布先は大学院教員及び大学院生

※下線部の様式などはホームページからダウンロードできます。